

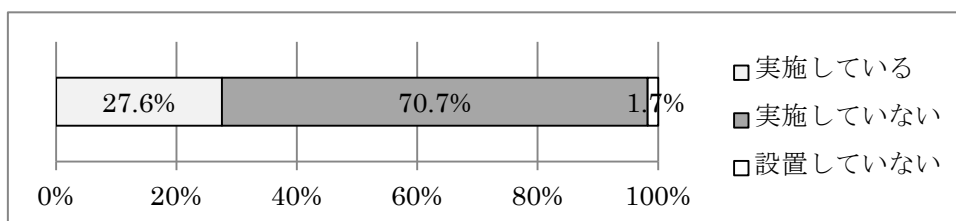
## 教育支援調査（放課後児童クラブ（学童保育） 主管課） 結果分析について

問1 貴市町村の放課後学童クラブ（学童保育）は、教育プログラムによる取組を実施していますか。

○表

実施している	実施していない	設置していない
16市町村（27.6%）	41市町村（70.7%）	1市町村（1.7%）

○グラフ



問2 今後、放課後等の取組を行う予定はありますか。

○表

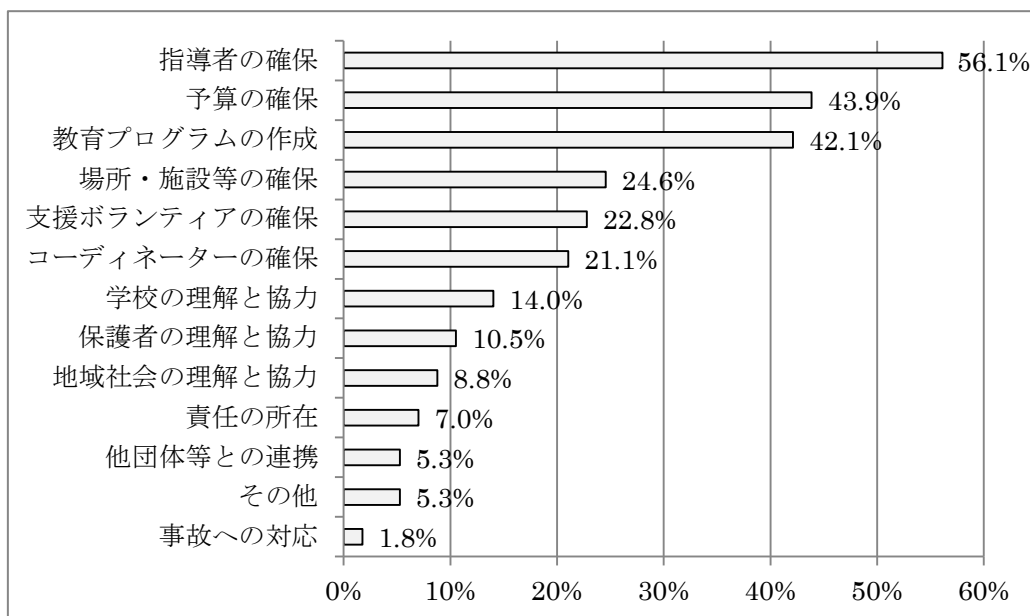
ある	ない	検討中
0	30	11

問3 貴市町村の放課後児童クラブ（学童保育）で、教育プログラムの取組を行う場合、課題はどのようなことですか（3つまで）

○表

指導者の確保	56.1%
予算の確保	43.9%
教育プログラムの作成	42.1%
場所・施設等の確保	24.6%
支援ボランティアの確保	22.8%
コーディネーターの確保	21.1%
学校の理解と協力	14.0%
保護者の理解と協力	10.5%
地域社会の理解と協力	8.8%
責任の所在	7.0%
他団体等との連携	5.3%
その他	5.3%
事故への対応	1.8%

## ○グラフ



問4 放課後等に教育支援を行うに当たって、県教育委員会はどのような支援してほしいですか、要望等があれば記入ください。(記述)

- ・財政的支援
- ・学童保育で教育支援の取組を行うことは、学童保育の本来の趣旨と違う  
学童保育所から教育プログラムを行うところへ送り出すことは可能
- ・学童保育は、遊びの場・生活の場として実施している
- ・支援ボランティアの派遣、近隣の成功事例の視察研修の実施
- ・教育プログラムの導入には抵抗がある
- ・学校との連携。教育プログラムの指導・助言。
- ・学校の空き教室利用が難しい。県からの協力要請を強く希望する
- ・教育プログラムの取組内容の説明や取組への予算補助をお願いしたい
- ・アンビ広場と連携、参加している。放課後子ども教室を実施し、学童保育所が協力する体制が望ましい。学校施設の積極的活用を進めていただきたい
- ・放課後総合プランに添った一体型を考えるので学童での取り組みは検討していない
- ・教育プログラム作成や指導員の確保への支援
- ・教育プログラム専門の指導員が必要、予算の確保

## ○分析

- ・問1、問2の結果から、「教育プログラム」を実施しているところは27.6%であり、未実施のところでは今後の実施予定はない(検討中が11か所)。

問4の「記述式要望」をみても、「教育プログラム」の実施については、実施主体としてではなく、協力者としての姿勢が強く感じられる。

- ・実施市町村の実施内容は、学習支援3カ所(18.8%)、体験活動16カ所(100%)、両方実施が3カ所(18.8%)であり、体験活動重視といえ、学童保育の趣旨に沿った意向が感じられる。
- ・問2の「取組を行うに当たっての課題」では、「指導者の確保」が56.1%と過半数に達し、「予算の確保」、「教育プログラムの作成」もそれぞれ43.9%、42.1%と半数に迫り、この三者で主要な部分を占める。教育委員会調査に比べて「教育プログラムの作成」が高位にあることから、新しい取組に対する困惑が感じとれる。「コーディネーターの確保」が市町村教育委員会同様に21.1%と低位にあるのは、やはりその重要性が十分に認識されていないと考えられる。いずれにしても、問4の「記述式要望」を合わせてみると、学童保育の抱える職員配置の手薄さや特別に支援を要する児童への対応、運営基盤の問題等がうかがわれ、単独では教育支援に取り組むことが困難な状況にあると考えられる。